

記載内容は変更されることがあります。

科目名	卒業研究	英語科目名	Graduation Research	
開講年度・学期	平成26度・通年	対象学科・専攻・学年	電気情報工学科5年	
授業形態	実験	必修 or 選択	必修	
単位数	10単位	単位種類	履修単位 30h	
担当教員	学科教員全員	居室（もしくは所属）	各教員の居室	
電話	各教員の内線	E-mail	各教員@小山高専ドメイン	
授業の到達目標	授業到達目標との対応			
		小山高専の教育方針	学習・教育到達目標 (JABEE)	JABEE 基準
	1. 研究テーマについて背景・目的などを解釈し研究計画を立案できる。	②, ④, ⑤, ⑥	BO, E	d-2, d-3, e, h, d-4, f, g
	2. 研究に自主的に取り組み、創意工夫をし、継続的に研究を実施できる。	②, ④, ⑤, ⑥	BO, E	d-2, d-3, e, h, d-4, f, g
3. 研究内容を報告書(論文など)および口頭発表で表現、説明できる。	②, ④, ⑤, ⑥	BO, E	d-2, d-3, e, h, d-4, f, g	
各到達目標に対する達成度の具体的な評価方法				
到達目標1, 2:実施状況、到達目標3:報告書(論文など)・プレゼンテーションによって評価し、各々60%以上の得点で達成とする。				
評価方法				
到達目標1, 2:指導教員が実施状況(100%)で評価する。 到達目標3:指導教員、学科教員が報告書・プレゼンテーション(100%)で評価する。 (指導教員:学科教員=1:2) 科目としての成績は、到達目標1(10%)、到達目標2(30%)、到達目標3(60%)で評価する。				
授業内容				
電気情報工学科で4年間学習した内容を基礎に、配属された研究室において指導教員から与えられた課題を個人あるいは複数で研究を行う、高専教育の集大成科目と位置づけている。教員とのゼミナールなどを通して、研究課題の意義・研究手法およびその実施に関する指導を受けると同時に結果の評価・分析などについて自学自習を重ねて、実践的技術者としての問題解決能力を養う。その主な目的は、電気・電子・情報工学上の諸課題についての研究の進め方・論文のまとめ方・発表の方法などの習得である。				
キーワード	研究、計画性、自主性、創造力、問題解決能力、技術論文、プレゼンテーション			
教科書	指導教員が指定する資料・文献			
参考書	電気情報工学科の授業で使用した教科書・参考書			
カリキュラム中の位置づけ				
前年度までの関連科目	開設科目全般			
現学年の関連科目	開設科目全般			
次年度以降の関連科目	開設科目全般			
連絡事項				
1. 研究室において学生の適性と希望に応じ、また、テーマに応じて個別の指導がなされる。 2. 電気情報工学科、5年間において学ぶ専門科目の集大成科目となっている。 3. 5年間で学んだことを基に、各学生の実力を十分に発揮して欲しい。 4. 基本的には学生自身が計画を立てて、研究を進めることになる。 5. 卒業研究発表会において発表することが義務づけられている。				
シラバス作成年月日	平成26年2月28日			

H26年7月14日 JABEE 基準を修正(到達目標1, 2, 3ともiを削除)